

かけはし



今、求められる情報モラルについて

GIGA スクール構想が本格的にスタートし、子どもたちの情報獲得量や意見交流の場が格段に広がりました。情報社会の進展に伴い、私たちには、それらに対応した情報リテラシーが求められます。学校では、子どもたちに ICT 機器の活用とともに情報活用能力を身につけさせようと、日々取り組んでいるところです。子どもたちに、情報手段に対する理解を深めさせ、情報活用の実践力を高めながら、情報社会に求められる態度の育成にも努めています。子どもたちは、ICT 機器を活用した学習が大好きで、学習活動を充実させ、大きな成果を上げています。今後も、情報教育を推進し、ICT 機器を使いこなせる教育指導を充実させ、情報社会をたくましく生きる力と確かな学力の向上に努めていきます。

しかし、家庭や地域社会において、スマホ等が著しく普及し、子どもたちがそれらを活用する機会が増えてくると、情報に関わる新たな問題も出てくるようになりました。「インターネット上への個人情報の流出」「SNS 上でのいじめ」「ネットゲームでの過剰な課金」等、学校だけでは対応できない事案が増え続けています。

そこで、本校では、情報モラル教育を推進するなかで、子どもたちの規範意識を高め、情報モラルの向上に努めていこうと考えています。

今後も、こうした教育を効果的に推進していくためには、学校・家庭・地域の連携が大切です。それぞれの役割を互いに理解し合いながら、子どもたちの学びや育ちを地域社会全体で見守り、支援していくことが益々重要になるでしょう。

保護者の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



みんなで読書をする楽しさを味わいましょう！

ICT 機器を活用することで情報に触れることは容易になる一方で、視覚的な情報と言葉との結びつきが希薄になり、情報の意味の吟味や文章の構造や内容を的確に捉えて読解する機会が少なくなってきました。特に学年が進むにつれてその傾向が明らかになっているようです。

子どもたちの読書活動は、小学校における語彙の量と質の違いで学力差に大きく影響してくるとも指摘されています。幼児期から学童期にかけての読書能力の形成や言語能力の育成が、その後の社会的・職業的な自立に向けた学びにも影響してきます。ご家庭でも、お子さんに読書する習慣がつくようご協力をお願いします。